

主治医の皆様へ

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで子どもたちが一日を快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の作成をお願いいたします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が、集団生活可能な状態となつてからの登園であるようお願い申し上げます。

(医師記入欄)	意見書	園児名 _____
病名「 _____ 年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になつたので登園可能と判断します。 _____年 月 日		
	医療機関 _____	
	医師名 _____	印 _____

【医師が記入した意見書が必要な感染症】

感染症名	潜伏期間	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹 (はしか)	8~18日	発症1日前から発疹出現4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	1~4日	症状がある期間 (発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで
風疹 (三日ばしか)	14~23日	発疹出現前7日から後7日間くらい	発疹が消失してから
水痘 (水ぼうそう)	14~21日	発疹出現1~2日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	14~21日	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核	2年以内		医師により感染の恐れがないと認められるまで
咽頭結膜熱 (プール熱)	2~14日	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	7日前後	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	6~15日	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失し、全身状態が良好であること (抗菌薬を決められた期間服用する。7日間服用後は医師の指示に従う)
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111等)	3~8日	発症後1週間	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	1~3日	ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	3~4日	治療開始後24時間を経過するまで	医師により感染の恐れがないと認められるまで

園長	保育士	保育士	保育士	保育士